

Early Music Series  
古楽の愉しみ

シリーズ関連企画・ワンコイン・プレ・レクチャー



# 語らずにはいられない! ヘンデルの名作たち

## 歌劇『ジュリオ・チェーザレ』と『メサイア』

熱く語る!ヘンデルと古楽の世界。  
知ればさらに楽しくなる!

今秋、ヘンデルの2大傑作

歌劇『ジュリオ・チェーザレ(ジュリアス・シーザー)』とオラトリオ『メサイア』が  
芸術文化センターに登場!

ヘンデルの魅力といま最も熱い古楽の名手たちについて、  
バロックオペラとオラトリオに精通した2人の講師が  
資料を紹介しながら熱く楽しく語り合います!

過去のプレ・レクチャー  
© 飯島隆

講師



©Tomoko Hidaki

加藤浩子  
(音楽物書き)

講師



三ヶ尻 正  
(ヘンデル研究・  
オラトリオ研究)

Giulio Cesare

Messiah

2023 9/6 (水) ① 11:30AM開演 ② 2:30PM開演 (各回開場30分前・90分・休憩なし)

全席指定 500円(税込)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売  
5/21(日)

チケット  
予約

●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp>

芸術文化センター会員先行予約受付開始 5/20(土)

●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>



兵庫県立  
芸術文化センター

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター  
[5/23(火)より、残席がある場合のみ]

※未就学児はご入場いただけません。 ※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。  
※プレイガイドでの取扱については各プレイガイドにお問合せください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(企画・制作)

**ヘンデル：バロック時代のエンターテイナー** 三ヶ尻 正

**生涯と音楽活動**

ヘンデルは1685年ドイツ中部のハレに生まれ、ハンブルクやイタリアでの音楽修業を経て25歳の若さでハノーヴァー選帝侯の宮廷楽長に選ばれます。主君ゲオルク侯は後の英国王ですが、ヘンデルはその先遣隊としてロンドンに渡り、やがてイギリスに帰化して1759年に74歳で没しています。

ヘンデルと言えば《水上の音楽》や《調子のよい鍛冶屋》のような器楽曲も有名ですが、活動の中心はオペラやオラトリオといった声楽曲でした。また当時音楽家といえばバッハやハイドンのように宮廷や教会で働いていましたが、ヘンデルの活動の場は興行が勝負の商業劇場でした。

**オペラ・オラトリオ**

劇音楽のうち舞台上演するものがオペラ、演奏会形式のものがオラトリオです。ヘンデルはオペラを40曲以上、オラトリオを30曲以上作りました。

若きヘンデルがロンドンに乗り込んで成功したオペラ《リナルド》(アリア〈涙の流れるままに〉)で有名は、エルサレムで苦戦する十字軍にキリスト教の英雄リナルドが参戦して勝利を取める物語です。ドイツから来るプロテスタントの次期英国王ジョージ1世の前宣伝オペラでした。

やがてヘンデルは国王も出資するオペラ・カンパニー「国王音楽アカデミー」でオペラの量産期に入ります。初期の代表作《ジュリオ・チェーザレ(ジュリアス・シーザー)》(アリア〈泣かせて下さい〉)は、権力争いでもめていたエジプトにローマのシーザーが乗り込み、クレオパトラを助ける一大スペクタクルです。



《ジュリオ・チェーザレ》楽譜初版本の表紙

約15年続いたアカデミーの解散後もヘンデルは自力で興行を続け、《アリオダンテ》《アルチーナ》《セルセ》(アリア〈オンブラ・マイフ〜美しい木蔭〉)などを残しています。

当時オペラやオラトリオは、政治や外交の宣伝ツールでもありました。王侯・政権は自分の宣伝を、反対派は相手を批判したり揶揄したりしました。いわば時事問題エンターテインメントだったのです。茶化したりふざけたりする場面も珍しくなく、《ジュリオ・チェーザレ》でもそうした軽妙なシーンが見られます。

ヘンデルは以前からオラトリオも作っていましたが、政権批判を盛る器だった演劇が1737年に規制され、英語で意見発信できるオラトリオの需要が高まると、重心をそちらに移し、1741年にはオペラから撤退してオラトリオに専念、《メサイア》(〈ハレルヤ・コーラス〉)が生まれます。1745年の反王党派の叛乱が鎮圧されると、祝勝オラトリオ《ユダス・マカベウス》(表彰式の歌〈見よ、勇者は帰る〉)を成功させて国民的作曲家としての地位を固めました。



《メサイア》〈ハレルヤ〉の自筆譜

**頼れるエンターテイナー**

イギリスでのヘンデルは宮廷楽長などの官職には就きませんでした。王室の重大な行事(戴冠式や葬儀など)では、正規の楽長などを差し置いて作曲を任されていました。テムズ川での王の船遊びの際の《水上の音楽》や、祝勝式典での《王宮の花火の音楽》なども彼のエンターテイナーの才能が花開いた好例と言えるでしょう。

**加藤浩子 (音楽物書き) Hiroko Kato**

東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒業、同大学院博士課程満期退学(音楽史専攻)。音楽物書き。主にバッハを中心とする古楽およびオペラについて新聞、雑誌その他に執筆、また各所カルチャーセンターなどで講演活動を行う。欧米の劇場や作曲家ゆかりの地をめぐるツアーの企画同行も行い、バッハゆかりの地を巡る「バッハへの旅」は20年を超えるロングセラー。著書に『今夜はオペラ!』『ようこそオペラ』『バッハへの旅』『バッハ』『黄金の翼=ジュゼッペ・ヴェルディ』『ヴェルディ』『オペラでわかるヨーロッパ史』『音楽で楽しむ名画』『オペラで楽しむヨーロッパ史』など。最新刊は『16人16曲でわかるオペラの歴史』(平凡社新書)。公式ホームページ <https://www.casa-hiroko.com> Facebookアカウント <https://www.facebook.com/hirokkina/>



©Tomoko Hida

**三ヶ尻 正 (ヘンデル研究・オラトリオ研究) Tadashi Mikajiri**

1962年京都生まれ。東京大学文学部英文科卒。ヘンデル研究・オラトリオ研究、声楽家の発音指導(英・独・羅)、字幕・対訳制作に従事。オラトリオの歴史や、オペラ・オラトリオ台本の政治史的解釈に関する著述・講演で好評を博す。言語指導では、テキストの解釈や韻律法に加え、音声学に基づいた科学的なアプローチに、字幕・対訳では原典のことは大切にしたいわかりやすい日本語訳に定評がある。著書・訳書に『メサイア・ハンドブック』『ミサ曲・ラテン語・教会音楽ハンドブック』『ヘンデルが駆け抜けた時代』『ヘンデル創造のダイナミズム』(共訳)など。新国立劇場オペラ研究所講師、国立音楽大学大学院および大阪音楽大学大学院非常勤講師。日本音楽学会、日本ヘンデル協会、日本イタリア古楽協会会員。



**鈴木優人&BCJの歌劇「ジュリオ・チェーザレ」**  
バロック・オペラ・エポリューション2023

G.F.ヘンデル：歌劇「エジプトのジュリオ・チェーザレ」HWV17  
全3幕/イタリア語上演・日本語字幕付/セミ・ステージ形式  
指揮：鈴木優人 管弦楽：バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)  
クレオパトラ：森 麻季 チェーザレ：ティム・ミード ニレーノ：藤木大地 ほか  
2023. **10/7(土)** 3:00PM開演 (2:15PM開場) **KOBELCO 大ホール**  
A9,000円 B7,000円 C5,000円 D3,000円 E2,000円 (全席指定・税込)

**濱田芳通&アントネッロの「メサイア」**

G.F.ヘンデル：オラトリオ「メサイア」HWV56(全曲) 字幕付  
指揮：濱田芳通 管弦楽：アントネッロ  
独唱・合唱：ソプラノ：中山美紀・中川詩歩  
アルト(カウンターテナー)：彌勒忠史・中嶋俊晴 テノール：中嶋克彦 ほか  
2023. **11/25(土)** 3:00PM開演 (2:15PM開場) **KOBELCO 大ホール**  
A5,000円 B4,000円 C3,000円 D2,000円 (全席指定・税込)

発売：先行会員 5/20(土)、一般 5/21(日)

**<チケットご購入のお客様へのお願い>**

- ※新型コロナウイルス感染予防対策は、今後の状況により変更する可能性があります。最新の状況はウェブサイトをご確認いただけますようお願いいたします。
- ※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。
- ※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。
- 取り扱いについては、各プレイガイドにお問合せください。
- ※やむを得ない事情により、公演の中止や、出演者などが変更される場合があります。予めご了承ください。

